

学術講演会報告

「篤姫をテーマに」

第5回学術講演会を開催

附属図書館主催第5回学術講演会を10月25日、弘前大学創立50周年記念会館において、東京大学史料編纂所近世史部門の山本博文教授を招き、「江戸城大奥と天璋院篤姫」と題し開催した。この講演会は学生の学術研究に対する意識向上と地域社会への貢献など学術成果の普及を目的として、平成16年度の法人化以降毎年度開催され、今年度が第5回目となる。

講演では、篤姫が薩摩藩の一門の娘から徳川將軍の御台所となった経緯や篤姫の入った大奥とはどのような世界だったのかなど、篤姫の生涯を中心に、当時の幕府と薩摩藩の關係などを解説。三千人もの女性が働いていた大奥の実像、そして將軍御台所として大奥の頂点に立った篤姫が、激動の時代の中でどのように生きてきたかをNHK大河ドラマの「篤姫」と照らしながら語った。「篤姫」ブームでもあり、会場は大入りであった。



講演する山本博文東大教授

(企画管理担当 小山内英子)



熱心に聞き入る満員の来場者